

『あるってくるぶ ニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせします。ホームページ <http://artecclub.org/> では、カラーでご覧になれます。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・ どなたでも参加できますが、会員には特典があります!!!

今回は、事務局のサーバーが故障し、オープニングライブ、お料理、作品、ワークショップなどの写真データがすべて破損してしまいましたので、縮小版でお届けします。オープニングライブの写真は、おーらいレコード東京の布村さんよりご提供いただきました。

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

鶉堂 新井 悦美 展 <手漉き和紙>

6月26、27、28、7月3、4、5日

新井さんの和紙漉きの仕事のメインは、漉き枠に籐の代わりに糸を張り漉き上げる創作和紙の「流泉紙」です。ものを書く紙の用途からは外れますが、和紙が持つ暖かさや優しさ、流泉紙独特のさわやかさは、和紙の可能性を広げたように思います。

日々の制作活動は、椿や野菜畑の世話、家庭の切り盛りそして制作と言う日常生活のようです。様々な切り紙が漉き込まれたモザイク模様の流泉紙のような毎日ですね。

ワークショップでは、鶉堂の流泉紙でブックカバー、うずら紙を使い一筆箋、ぼち袋などを作りました。

<http://homepage2.nifty.com/uzuradou/>

購入は、都幾川の羽工房、越生龍ヶ谷の山猫軒、日本橋の小津和紙で。うずら紙は川越一番街の「はるり銀花」でも手に入ります。



— これからのスケジュール —

◆2009年 アルテクラブ企画展

吉田文 染織展

★期間：10月2、3、4、9、10、11日

★金土日のみ開廊。12：00～18：00

★会場：三番町ギャラリー

★オープニングパーティー

10月1日(木) 18：00～

吉田和雄さんひきいるボサノバのユニットです。

★プロフィール

1980年 手織りの創作活動を開始

1998年 日本クラフト展入選

2001年 日本クラフト展入選

2008年 ておりや創業30周年記念公募展

「織・表現としての手仕事」入選

社団法人 日本クラフトデザイン協会正会員

川越市在住

*三番町ギャラリー企画展では、新作を含めたストール、マフラーを展示予定

— 今年のアテクラブ企画展 —

CHIAKI' s CHRISTMAS PETIT 12/4・5・6

「アルテクラブのクリスマスを二胡の音楽と花たちがおしゃれに演出！」

ワークショップを開催します。5日(土)

・クリスマスとお正月のリースを作ります

— ご案内 —

<国際野外の表現展 2009 比企>

2009年9月15日～10月18日 9：00～16：00

東京電機大学鳩山キャンパス/東松山千年谷公園

川越市立美術館(9月22日～27日)

亜露麻ギャラリー(9月27日～10月3日)

アートガイド：10月3日、10日、17日の土曜日

東京電機大学本館前、バス停留所 12：00 集合

web site：<http://www.ioe-hiki.com>

今年も、ダイナミックな作品が比企の丘に展開されています。必見ですよ～!

オープニングライブ

新井悦美展オープニングコンサート

6月25日(木) 18:00~ アルゼンチンの民族楽器「アルパ」の演奏でした。

演奏は池山由香さん。来ているドレスは、新井さんの和紙で作られています。池山さんは、小5の時に父様の仕事の都合でアルゼンチン・ブエノスアイレス市に渡り住み、アルパに出会っています。アルゼンチンにてチョチン・バルブエナ氏に、日本にてチューチョ・デ・メヒコ氏、マルシアル・ゲレロ氏に師事。現在、桐朋音楽大学声楽専攻科在学中。

http://yukaikeyama.jpn.org/main/index_pc.html



新井悦美さんの手漉き和紙・流泉紙のドレスをまとった演奏の池山由香さん。

アルテクルブ・クッキング

“本日のめにゅー”

鞠堂<新井悦美展>オープニング 09.6.25

- なすのひき肉はさみ煮
- パプリカの甘酢づけ
- トマトときゅうりのピクルス
- 帆立のネギソース
- 鶏肉とキャベツの辛子サラダ
- じゃがいもと干しえびのバルサミコ風味
- オクラとセロリの昆布づけ

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/index2.htm



♪ アルテクルブ・コンサート予定

10月1日(木) 6:00pm~ 吉田文展オープニング
韓流ポッサがつに登場。美しい歌とルックスで前回の来日でファンを虜にした女性ヴォーカリスト、キム・ヒョーキ、そしてカリオカのホブソン・アマウラがボサノヴァのスピリットをお届けします。

出演: キム・ヒョーキ・Vo

ホブソン・アマウラ・Gt, Vo

吉田和雄・Drm

この後、近くのダイニングバーで、2ステージ目があります。

♪ 10月1日(木) 川越シンプルサイモン

049-225-5598 (予約受付中)

Open: 6pm Start: 8:30pm (1ステージ)

チャーシ ¥2100 (10名分、予約してあります)



(写真提供: 吉田和雄)

—— 今年のまち歩き ——

★ 吾野宿まちなみ展覧会 8月2日(日)
西川材の間伐材を使った、アートベンチ・プロジェクト
に行ってきました。県内の様々な高校、専門学校の皆さん
が参加していました。



県立川越高等技術専門学校ベンチプロジェクトチームの作品
きかんしゃく木感謝 > 子どもたちに大人気!



県立川越総合高校の作品<ウェイビー>

—— あるってアート ——

★アートなまなざし 小江戸川越再発見!
「あるってアート 2008」記録ビデオ上映会
& シンポジウム「アート アンド コミュニティ」

<http://liveart08.org/event/>

10月31日(土) 14:00~16:30

パネリスト: 小西甫正 (OENパートナーズ代表)
荒牧澄多 (アートガイド・NPO法人理事)
加藤忠正 (アートガイド・NPO法人理事)
柳 忠行 (グラフィックデザイン)

司会: 小野寺優元 (アートディレクター・彫刻家)

場所: 川越市産業観光館 (旧鏡山酒造) 参加費=無料
川越市新富町1丁目10-1

主催: アルテクラブ

後援: 小江戸川越観光協会

※埼玉県文化振興基金助成事業
地域ネットワーク構築促進事業

※昨年開催された、「あるってアート 2008」を振り返り、
これからの川越におけるパブリックアート・マネージメン
トとアートによるまちづくりの可能性を探ります。

*ギャラリー会場担当ボランティアを
募集しています!
アートサポーターとして、参加してみませんか?

10月2, 3, 4, 9, 10, 11日

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方には
ポイントがつきます。お時間のとれる方は、事務局ま
で連絡をお願いします。

*前回は、杉本さん、綿貫さん、三好さん、小倉さん、
片山さん、斉藤さん、新井さん、佐復さん、が担当
されました。

*アルテクラブマネーを獲得し、使ってみよう! ギャ
ラリーサポート: 3アルテ

ギャラリー企画提案: 3アルテ

まち歩きの時の車両提供: 3アルテ

まち歩きリーダー: 5アルテ (現地調査、資料作り)

発送作業手伝い: 1アルテ

コンサートPAなどの補助: 2アルテ

など、これからも皆さんのご提案をもとに、より良い
ものに行きたいと思います。

<アルテ>通貨が使えるもの (1アルテ=1,000円相当)

アルテクラブ企画展及び所蔵作品の購入、

アルテクラブ主催コンサートチケット、

三番町ギャラリーの使用 (作品展、ワークショップ)、

ちあきテーブルスタジオ: お茶 (ケーキ付) 1アルテ

他にもアルテ通貨の利用できるお店などの協力を募り
たいと考えています。

★アルテクラブ・サポーター募集!

年会費 ¥3000

会報、オープニングパーティーへの参加、まち歩き

への参加、企画展の提案、ギャラリー担当など、

ゆうちょ銀行ゼロイチキョウ店 当座 0179161

宜しくお願いします!

★左記の「あるってアート 2008」記録ビデオ上映会
& シンポジウム「アート アンド コミュニティ」

は、皆様の支援金によって運営されております。ご

支援いただける方は、住所・氏名・連絡先の電話番

号を事務局へハガキまたはファックスかメールでご

連絡を下さり、下記口座へ支援金をお振込み下さい。

口座: 三井住友銀行川越支店 普通 7442197

アルテクラブ シムキョク クサノリツコ

三番町ギャラリー
〒350-0045
川越市南通町14-3
Tel 049-226-7735

アルテクラブ事務局
川越市南通町14-3-102
草野建築設計事務所内
Tel 049-227-8176
e-mail kusano@artclub.org
URL <http://artclub.org/>

—— 今年のまち歩きアルバム ——

★ 吾野宿まちなみ展覧会-2 8月2日(日)

アートベンチプロジェクト開催中に行われた、「吾野宿・古民家ツアー」に参加しました。



板葺きの頃の面影を残す民家



洋館（和洋折衷）の住宅、ステンドグラスのある玄関



鎌倉街道入り口



武家屋敷の長屋門が移築された民家



農家の門とは思えない豪華な薬医門



吾野宿山の辺の道

吾野宿（現在は、飯能市坂石町分）は、江戸時代の文献によると「秩父甲州往還」のうち、江戸から秩父までの「秩父道」の一本が通っていたようです。秩父道・吾野通り（所沢～飯能～旧正丸峠～芦ヶ久保～秩父大宮郷）当時の古地図には、秩父郡「坂石」の地名が残されています。林業と養蚕、市の開催で栄えた当時が偲ばれる町並みです。宿場町としての古民家残存率は、関東随一かもしれません。